

社会的視点取得における発達的变化 —大人と幼児、発達障害児について—

小沢日美子（同朋大学）

キーワード：意図理解，誤信念，社会的視点取得

問 題

社会的視点取得能力は、他者の立場に立ち相手の感情や思考を理解し、相手の考えや気持ちを推し量り、調整して対人行動に生かす能力である。社会的視点取得能力は、心の理論を中心にして研究されてきている。子ども時代の「心の理論」の発達には母親の言語使用が密接に関わっていることから大人の言語使用についての文化差を見ることが重要だと考えられている（e.g., Toyama, et al., 2015）。他者の心を類推し、理解する「心の理論」の発達には、意図的な絵本や物語に接する機会の多さが影響を及ぼすとされる（e.g., Tsunemi, et al., 2014）。発達に障害が疑われる幼児は、「心の理論」課題を通して測定される社会的認知機能において、精神年齢、言語年齢を一致させた定型発達児よりも発達が遅れていることが指摘されている。

本研究では、社会的視点取得能力の発達に関し、社会的文化の影響が考えられる男女差、幼児期の言語発達差に着目して、大人と幼児及び発達障害児を検討する。

方 法

調査協力者 大人119人（ $m: f=54:65$, $M=20.0$, $SD=19.9$, $r=19-27$, $r=19-21$ ）。幼児〔定型発達児〕44人（6歳19人, 5歳14人, 4歳11人）（ $m: f=13:31$, $M=5:3$, $r=4:0-6:9$ ）。〔発達障害児〕8人（ $m: f=4:4$, $r=4:9-6:3$, $M=5:4$, [DQ] $r=3:1-6:9$ ）。
課題概要 「心の理論」課題：意図理解課題（cf., Happé, 1994）、誤信念課題（cf. Wimmer, & Perner, 1983）について、他者2種（人：H / ロボット：R）を実施した。言語発達課題：語彙、文章記憶、理解、類似、定義、数唱（幼児を対象に実施した）。
手続き 大人：「心の理論」課題のそれぞれの物語を4場面ごとに区切って読み上げ、集団一斉方式で実施した。課題ごとの質問紙は事前に配布した。幼児：初めに言語発達課題を実施した。その後、「心の理論」課題は、アニメーションをディスプレイに投影して個別方式で実施した。課題の他者の組み合わせは、カウンターバランスを取った。
倫理的配慮 幼児では調査概要を機関長の承諾を得て同意が得られた保護者の幼児に調査協力を依頼した。調査による不安感、調査後の疲労感を高めないように配慮し、必要の際には状況判断により中止し、事後フォローを実施することとした。

大人は、大学の授業後に教室で調査概要を説明し同意が得られた学生について調査協力を依頼した。

結 果

大人の「心の理論」課題（意図理解と誤信念）において他者（R）のとき、および、意図理解得点（R）のとき、誤信念得点（R）のとき、一要因分散分析において、男女差が示された（ $F(1, 115)=8.76$, $p<.01$, $F(1, 116)=5.01$, $p<.05$, $F(1, 116)=3.85$, $p<.1$ ）。その他は有意ではなかった。幼児の「心の理論」課題において意図理解得点での年齢・言語の交互作用のみ有意だった（ $F(6, 6)=9.04$, $p<.01$ ）。なお、年齢と言語発達得点でやや強い相関関係を示した（ $r=.68$, $p<.1$ ）。また、意図理解得点と言語発達得点は、偏相関（統制変数：年齢）で有意傾向を示した（ $r=.70$, $p<.1$ ）。しかし、誤信念得点と言語発達得点では示さなかった（ $r=-.26$, $p>.1$ ）。また、幼児では、「心の理論」課題のいずれも、他者の性質にかかわらず、有意な相関関係を示さなかった。発達障害児では、年齢と言語発達得点の関係にて有意な傾向を示唆した（ $p<.1$ ）。また、偏相関係数（統制変数：年齢・男女）にて、意図理解得点と言語発達得点は強い関係を示した（ $r=.84$, $p<.05$ ）が、誤信念得点では示さなかった（ $r=.09$, $p>.1$ ）。

考 察

大人では、「心の理論」課題で、他者（R）のとき、とくに他者の意図を理解する課題において、男女の差が示された。このことは、他者の性質による社会文化的な影響と、表層的言語に隠された意味理解において男女差が影響することが考えられる。幼児では、年齢と言語発達得点の交互作用が意図理解得点に示唆された。一方、幼児の結果では男女差の影響を示す結果は得られなかった。なお、幼児期の他者の意図の理解は、言語発達と生活経験との関係において発達することが考えられる。また、発達障害児では、誤信念課題より意図理解得点が言語発達と密接に関連することが示唆された。社会的視点取得のうち、特に、意図理解では、大人、幼児、障害児とも社会生活経験、また、言語理解、とくに、意味の理解が影響することが考察される。

今後の課題として、調査実施の手続きの影響、調査協力者の人数の影響が挙げられる。